

おぢや市議会 だより

NO. 104

令和 4. 4. 25

編集発行
小千谷市議会

☎ 83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



投稿者：なっしーさん 撮影場所：内ヶ巻

タイトル「今年もこんにちは(^▽^)」

待ちくたびれた春が来ました！

- 第1回定例会議決結果… P2
- 常任委員会報告…………… P3
- 一般質問…………… P5
- 議会日誌…………… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

第 1 回 定 例 会 議 決 結 果 (2月25日から3月22日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第12号	小千谷市テレワークセンター設置条例の制定について	全会一致 原案可決	
	議案第13号	小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（上段：修正案 下段：修正部分を除く原案）	賛成多数 修正可決 賛成多数 原案可決	
	議案第14号	小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決	
	議案第15号	小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数	〃
	議案第16号	小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第17号	小千谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	〃
	議案第18号	小千谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第19号	小千谷市立保育園条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第20号	小千谷市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
	議案第21号	小千谷市立小学校建設基金条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
予 算	議案第1号	令和4年度小千谷市一般会計予算について	賛成多数 〃	
	議案第2号	令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について	全会一致 〃	
	議案第3号	令和4年度小千谷市介護保険特別会計予算について	〃 〃	
	議案第4号	令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について	賛成多数 〃	
	議案第5号	令和4年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について	全会一致 〃	
	議案第6号	令和4年度小千谷市ガス事業会計予算について	〃 〃	
	議案第7号	令和4年度小千谷市水道事業会計予算について	〃 〃	
	議案第8号	令和4年度小千谷市工業用水道事業会計予算について	〃 〃	
	議案第9号	令和4年度小千谷市下水道事業会計予算について	〃 〃	
	議案第22号	令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第13号）について	〃 〃	
議案第23号	令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	〃 〃		
そ の 他	議案第10号	専決処分について（令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第11号））	全会一致 承認	
	議案第11号	専決処分について（令和3年度小千谷市一般会計補正予算（第12号））	〃 〃	
	議案第24号	小千谷市財政調整積立金の処分について	〃 全会一致	
	議案第25号	公共施設の相互利用に関する協定の一部変更について	〃 〃	
	議案第26号	定住自立圏形成に関する協定の変更について	〃 〃	
議案第27号	小千谷市営土地改良事業（災害復旧）の施行について	〃 〃		
請 願	請願第1号	「最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた」意見書の採択を求める請願	賛成少数 不採択	
発 議	発議案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻を強く非難する決議	全会一致 原案可決	

議 員 賛 否 の 状 況 （採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛	
議案第1号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号 修正案	修正可決	13	2	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号 修正部分を除く原案	原案可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	原案可決	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	—
議案第16号	原案可決	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	—
請願第1号	不採択	4	11	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	—	

※ ○は賛成、×は反対、議長（本田剛）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 森本 恵理子

本委員会に付託されました議案12件につきまして慎重に審査した結果、第13号を除く11件を原案のとおり可決すべきものと決し、第13号につきましては修正案が提出され、修正案が可決、修正部分を除く原案については原案のとおり可決されました。

委員会での主な意見・討論他

○議案第13号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

修正動議が提出され、議員報酬の引き上げ施行日を令和4年4月1日から令和5年4月1日にする修正案が可決されました。

主たる質疑として

・引き上げに対する市民の声について

・小千谷市特別職報酬等審議会答申の尊重と市民感情について

主たる討論として

・コロナ禍で苦しい生活を強いられる中で、議員報酬値上げは市民感情に合わないため、反対。

・令和4年度中の引き上げについては市民に対して間違つたメッセージを発する可能性が非常に大きいのではないかとということ、来年の改選に向けて一つの手助けになることを期待して令和5年4月1日からの報酬引き上げに賛成。というものがありません。

○議案第1号 令和4年度小千谷市一般会計予算について

主たる意見として

・病児・病後児保育の利用料・サービス内容についての検討を求める。
・新規就農者が更に力強く農業を経営していけるように、当市の農的関係人口を増やす仕組みを検証・検討いただきたい。

・コミュニティオペラ実行委員会負担金において、小千谷市を全国に発信する最大のチャンスと捉え、小千谷市の未来につながるような展開を今後も考えていただきたい。

主たる討論として

・少子化の更なる加速、高齢化が心配される中で実効性のある対応を強めるべきと考え、反対。

民生産業委員会

委員長 吉崎 進

本委員会に付託されました議案9件、請願第1号の以上10件について、慎重に審議した結果、議案9件は可決すべきものと決し、請願第1号は採択しないものと決しました。

○議案第12号 小千谷市テレワークセンターの設置条例の制定について

本案はテレワークセンターを本町1丁目（旧わんパーク）に設置するための条例制定です。

○議案第18号 小千谷市国民保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は国民健康保険の被保険者の均等割額を変更するものです。

○議案第19号 小千谷市立保育所の一部を改正する条例の制定について

本案は小千谷市立真人保育園を閉園し、小千谷市立保育園から除くものです。

○議案第20号 小千谷市法定外公共物管理条例の一部を改正する条

例の制定について

本案は小千谷市法定外公共物管理条例の一部を改正するものです。

○議案第23号 令和3年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

本案は既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億1620万円を追加するものです。

○議案第2号 令和4年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について

本案は令和4年度の歳入歳出予算の総額を30億7517万5千円とするものです。

○議案第3号 令和4年度介護保険特別会計について

本案は令和4年度の歳入歳出予算の総額を39億1897万7千円とするものです。

○議案第4号 令和4年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

本案は令和4年度の歳入歳出予算の総額を8億2830万7千円とするものです。



○議案第5号 令和4年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について
本案は令和4年度の歳入歳出予算の総額を50万円とするものです。
○請願第1号 最低賃金の改善と地域経済の回復にむけた請願について
本案は政府に向け、最低賃金を全国一律に1500円にし、経営が継続できるように中小企業への支援策を大幅に拡充せよというものです。

市議会だよりをアプリで配信中



スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用



iPhone用



本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。
本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。
市政への一般質問で各議員の顔写真の下に二次元コードを掲載しています。スマートフォンやタブレット端末で読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。
また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。
(令和4年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

市議会を傍聴してみませんか

第2回定例会開催予定

6月3日(金) 第1日	議案上程説明
6月6日(月)～8日(水)	各常任委員会で審査
6月21日(火) 第2日	一般質問
6月22日(水) 予備日	一般質問 (質問者が多い場合に開催)
6月24日(金) 最終日	委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。
委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

駒井 和彦 議員



ポストコロナの地域振興について

質問 総合戦略の見直し等変更、

今後の取り組みについて

答弁 見直しの議論は現在無いが、
今後はあり得る。

質問 デジタル田園都市国家構想
について。

答弁 交付金含め有効に活用する。

質問 当市のデジタル化について。

答弁 ネットワーク設備の増強や
セキュリティ強化が重要。関連例

規の改正と合わせ、設備・機器整備、
システム導入を順序だてて行って
いく。職員のテレワークについて
は今後も検討していく。

質問 マイナンバーカードの普及
率向上策について。

答弁 今後にも用途の拡大を含めP
Rし、普及率を高めたい。

質問 大企業等誘致のトップセー
ルスについて。

答弁 以前より行ってきている。
これまでと同様、取り組んで行く。

質問 仮称誘致戦略対策室の様な、
市長直轄の部署を設けてはどうか。

答弁 現時点で設置の考えはない。

質問 地域づくり支援員への現状
認識と今後の取り組みについて

答弁 真人、岩沢、東山に設置。

住民と共に地域の活性化に向けた、
明るい将来について、課題解決に
向け支援する存在。今後も住民の
課題解決に向けた話し合いの場合
でサポートをしていく。

質問 立地適正化計画における中
山間地振興策は。

答弁 この計画にはない。総合計
画やマスタープランの中に、その
考え方が織り込まれている。いず
れにしても自然環境を生かした住
み続けられる地域を目指す。

質問 移住しなかった地域おこし
協力隊の意見の、移住施策への反
映は。

答弁 事例や意見を踏まえ来年度
よりインターン制度を導入し、円
滑な活動や定住への取組を進める。

質問 地域活性化企業人制度を導
入し、地域振興に繋げては。

答弁 異分野への来年度導入の効
果を見極め、活動できる分野への
導入を検討していきたい。

住安 康一 議員



質問 当市の企業に若い人材の確
保と定着を促す仕組みとして、奨
学金返還支援事業を創設すべき。

答弁 市内事業所における人材確
保については、大変苦慮している
ことは承知している。各地で実施
されている取り組みを参考に、ま
た、当市において育英事業を行っ
ている小千谷奨学会の意見も伺い
ながら、当市の実情に応じた取り
組みを研究する。

質問 女性が働きやすい環境整備
の一つとして、テレワークステー
ションおぢやをどのように整備す
るのか。

答弁 多様で柔軟な働き方の実現
に向けての施設と考える。女性に
限らず、子育て中の方からも利用
いただき、今後、施設を利用した
起業・創業に向けての相談会やI
CTに関するスキルを学ぶセミ
ナー開催に取り組む。

質問 産後ケア事業を拡充し、ス
トレスや産後うつ状態、子育てに
大きな不安がある方などへの育
児・家事援助の支援体制の整備が
必要だ。

答弁 育児・家事援助の支援体制
を含め、今後、どのような子育て
支援サービスが必要であるかにつ
いては、第3期計画の策定時にお
いて検討する。

質問 食品ロス削減のさらなる推
進に力を入れるべき。

答弁 食品ロス削減の観点と、食
品残渣の堆肥への再利用を推進す
る事業などのゴミ減量化を進める
観点の二面から、再度PR方法も
含め検討する。

質問 食品ロス削減推進計画を作
成してはいかがか。

答弁 新潟県においても今後、策
定を予定している。現状の捉え方
及び目標設定など、今後の取り組
みについて慎重に検討する。

質問 小千谷市にもフードバンク
が立ち上がった。どのような支援
をしていくのか。

答弁 この団体と、これまでの活
動状況や課題、今後の役割、組織
の持ち方、支援の在り方などに
ついて、情報及び意見交換していく。

市政の内容を聞く 一般質問

山賀 一雄 議員



林業振興と森林環境

譲与税等について

質問 総合計画では、森林の維持・保全を掲げているが、具体的にはどのように進めるのか。

答弁 総合計画では、林業振興ではなく森林の維持を施策としており、所有者の意向調査などを踏まえて人材確保を含め、地域森林組合等関係団体と協議することとしている。

質問 森林の維持・保全には林道整備が必要不可欠と思うが、どのように考えるのか。

答弁 既設路線の保守保全を進めるが、林業経営を取り巻く環境は厳しい状況にあり、実態を踏まえた森林整備・保全を進めるべきと考える。

質問 特用林産物生産体制の確立は、どのように考えるのか。

答弁 県の補助事業を活用して設備導入の実績もあるが、現状にお

いて生産者が少ないこともあり、それぞれの意向を踏まえ支援に努める。

質問 森林環境譲与税の配分基準は、都市部が優遇されているとの報道もあるが、見解はどうか。

答弁 税の趣旨から中山間地域に多く譲与されるべきと考えており、市長会を通じて制度の見直しを要望している。

質問 森林環境税が令和6年度から課税されるが、地方財政計画の中でどのように見込んでいるのか。

答弁 総額で令和3年度400億円、令和4年度で500億円と見込んでいる。

質問 市民が納める森林環境税等は、どの程度見込んでいるのか。

答弁 令和6年度では市・県民税均等割と併せて約1800万円を、国からの森林環境譲与税は約900万円を見込んでいる。

質問 森林環境税の市民負担を了とするのか。

答弁 法令を遵守する行政の長としては、法令の趣旨、目的を達成するように推進すべきものと認識している。

長谷川 有理 議員



新型コロナウイルス対策の現状

質問 県の保健所業務見直しで検査が抑制されている。保育園・小学校での感染増、保護者の家庭内感染が危惧される。学級閉鎖クラスの子供は県の民間薬局での無料検査が出来ない。新発田市のようにな市独自の検査支援をすべき。

答弁 市内感染拡大の恐れがあれば臨時PCR検査場設置を求め、自宅療養者だけでなく自宅待機の濃厚接触者の食料支援や他市のような家庭内感染を防ぐための除菌用品含めた日用品の支援を。

答弁 濃厚接触者は感染対策した上で外出可能なので食料品支援行わない。陽性者へは食料の他にトイレットペーパーのみ支援する。

質問 当市で在宅介護を必要とする高齢者・障がい者が陽性となつた場合利用できる福祉サービスは。

答弁 訪問系サービス事業所のヘルパー利用が可能と聞いている。

質問 感染症禍における保育園でのICT化システム導入の現状は。保護者から改善を求める声多い。

答弁 現在の4園から新年度全保育園に導入予定。感染症禍での効率化、事業継続を高めたい。

質問 学級閉鎖時のリモート授業は特に低学年は仕事を休めない保護者や祖父母のみが見守りのご家庭ではサポートが難しい。教師の多忙化をうまない、家庭の格差をうまない丁寧な市の対応必要では。

教育長答弁 低学年は難しいが初めての試みを長い目で見てほしい。

今冬の豪雪対策は適切だったか

質問 今冬、当市中山間地は旧山古志村や旧川口町並みかそれ以上の積雪深だったが県の災害救助条例適用にならなかった。基準値見直しを県議と共に県に強く要請を。

当市の豪雪の中山間地、高齢者の多い集落は命にかかわる問題だ。

答弁 県に対して県議と一緒に行動していきたい。

質問 雪害警戒本部を設置しなかった理由は。2018年208cmで設置し本年266cmで未設置。

答弁 県災害救助条例適用基準に満たない見込みだったため未設置。

内山 博志 議員



妊産婦医療費助成制度等の改善について

質問 妊産婦の多くが利用できるように所得制限の廃止、窓口負担の軽減を求めてきた。子育てにお金がかかる。四半世紀、日本は実質賃金がマイナスだ。若い人達への影響は大きい。①実態把握のアンケートは急がれると思うが。②母子手帳の交付時に支援金等を考えてみてはどうか。費用も手間も負担にならない。

答弁 計画策定の中でニーズ調査を行っている。次期計画の中で提言も含め検討したい。

水稲からの転作支援について

質問 次から次に起こる問題は食糧安保として自給体制を追求すべきことが教訓と考える。①農業の大規模化や集落単位の現状はいかがか。②転作作物等促進する市の施策と今後についての考えは。

答弁 地域にあった集約化、効率

化は重要。兼業農家は市内の地場産業としても評価している。情勢にあったものにしていく必要がある。

特別支援学校の設置基準適用について

質問 教職員の配置数や面積基準が定められた。来年4月から施行される。既設校も基準を下回らないことを文科省は求めている。設置基準に対する現状はいかがか。今後の対応を伺う。

教育長答弁 児童、生徒の増加で若干満たない状況がある。職員室、トイレなど検討・計画を考えている。

消防団員の報酬引き上げについて

質問 地域における消防団は常備消防とともに大きな役割を担っている。国は新年度から交付税措置を執りながら消防団員の報酬引き上げを求めた。費用弁償の団員への直接支給についての対応は。

答弁 報酬は直接支払っている。費用弁償もそのように準備する。

平澤 智 議員



認可地縁団体について

質問 市内における認可地縁団体の設立数はどのくらいの数になつており、それぞれがどういった活動をしているのか。

答弁 令和4年2月末現在で49の認可地縁団体があり、その区域の住民相互の連絡、環境の整備、集会施設の維持管理等、良好な地域社会の維持及び形成に資する共同活動を行っている。

質問 課税対象団体ではあるが収益の伴う活動を実施しない場合において減免となることだが現状は。

答弁 市内において現在収益事業を行っている団体はおらず、市民税、固定資産税、全て課税免除となっている。

質問 設立にあたって登記の際の経費助成制度等は存在するか。

答弁 助成制度等はない。

事業承継について

質問 事業承継に向けての経営改善支援策や地元商店等の後継者問題、市外企業によるM&A対策等を強化していかないと今後地域全体の衰退につながっていくと考えられるが市としての認識と支援計画については。

答弁 令和3年度から、中小企業や小規模事業者等が抱える様々な悩みに気軽に個別相談できる「経営改善よろず相談窓口」を開設し専門の相談員が対応している。商工会議所においても事業承継に関するセミナー及び個別相談会を開催したと伺っている。中小企業庁の「事業承継・引継ぎ支援事業」については事業承継後の設備投資や販路開拓等の新たな取り組み及び事業引継ぎ時に専門家へお支払いする経費等に対し支援する事業であり、活用いただきたい。新潟県においても「新潟県事業承継・引継ぎ支援センター」が設置されており、原則無料で対応している機関となっている。小千谷商工会議所及び各金融機関が「ネットワーク構成機関」として認定されており支援センターへ繋げる役割を担っている。

市政の内容を聞く

一般質問

森本 恵理子 議員



雪を楽しむまちづくりについて

質問 人口減少が顕著です。特に県内他市町村への流出数の半数近くが長岡市への転出となつていきます。雪の課題が転出要因の大きな一つとなつていることについて時代の変化に即した対策を行うべきと考えますが見解を伺います。

答弁 長岡市への転出要因は雪だけではなく、また、十日町市や魚沼市からは転入超過となつていきます。克雪住宅であれば一定程度の定住化は可能と考えています。

質問 昭和30年代に消雪パイプが登場してからそれに代わる有用な道路融雪装置は普及していません。再生可能エネルギーの活用等を含め、新たな道路融雪装置や新たな克雪住宅の創出が必要と考えますが見解を伺います。

答弁 産学交流研究会及び連携協定を締結している大学などへ問題提起をしていきます。

質問 北欧のように冬でも公園等で雪遊びができる楽しいイメージが大事。防災公園や本町の病院跡地など、子どもたちが歩いて行ける場所に巨大滑り台を作る等気軽に遊びに行ける場所作りが必要と考えますが見解を伺います。

答弁 常設は難しいが、イベント的要素として検討していきます。

ふるさと納税について

質問 自主財源に直結する有意義な制度です。目標予定額と今後の方向性について伺います。

答弁 年間6億円を目標とし、毎年上積みしていけるよう努めます。

冬季通学路について

質問 市内唯一の冬季迂回路が設定されている本町―山本線。通学路の概念がない中学生や大人は普通に通じています。歩道整備をする等、抜本的な対策が必要と考えますが見解を伺います。

答弁 道路拡幅等は相当な投資額が必要となり、非常に困難であると捉えています。危険な箇所があれば迂回するなどなるべく安全な道路を通行していただきたいと考えています。

佐藤 隆一 議員



新年度予算後の政策展開について

質問 小千谷市の防犯灯LED化の現状と新年度予算の施策や今後の事業展開について。

答弁 4475ヶ所のうち、3165ヶ所の70%ほどが切り替わっています。町内会が自主的に行った具体例につきましては、お知らせで紹介する予定です。

質問 小千谷市は再エネ資源に恵まれていても、普及が大変遅れています。どう進めるのですか。

答弁 令和3年度から設備導入への補助制度を作り、新図書館等複合施設への導入など調査・検討を行っています。また、温暖化対策を市民・事業者とともに全市へ広め、2050年二酸化炭素の実排出ゼロを目指した取り組みを行つてまいります。

質問 燃やして埋めるゴミ処理施策を転換しないのですか。

答弁 これまで、焼却・埋め立て

のほか、古紙、瓶・缶・ペットボトル、プラスチック容器包装を分別収集リサイクルしてきました。また、収集したごみの金属類などを選別しリサイクルしています。特に、プラスチック資源のリサイクル促進を進める法律が成立しましたので、分別してリサイクル率を高めていきたいと思えます。

質問 マニユアルが現状に即していません。市民・事業者と不断に見直しを行うことが必要ではないですか。

答弁 市ホームページや公式ラインでの周知に努めてきました。町内会からの意見や環境審議会場で協議を継続していきます。

質問 効率性一辺倒の行政改革大綱は見直しが必要なのは。

答弁 社会の急速な変化に対応して、市民の要望に沿った質の高いサービスを提供します。

質問 ガス事業の売却は、売却価格だけでなく多角的な観点で、慎重な検討を要するのではないか。

答弁 答申を尊重しつつ、詳細な調査結果により判断します。

質問 説明会の質疑公表は。

答弁 公表はしません。

大矢 弘光 議員



行政手続きのオンライン化 推進について

質問 書面規制等の見直し及び申請の省略に係る検討状況について

答弁 法令により規定されている事案・事項及び住民の利益につきがり法令に抵触しない事項については、申請書不要の形式によって対応している。書面規制については、オンラインで手続したものを書面提出とみなすことが可能となった。押印規定については、やむを得ない行政手続きを除き、可能な限り押印を不要とするように様式改正に取り組んだところである。

質問 デジタル基盤改革支援補助金について

答弁 国ではマイナポータルを基情報インフラとし、マイナンバーカードの利便性向上をより一層進めるものとしており、「自治体オンライン手続推進事業」の利

用見込みを見極めながら該当補助金の活用を早急に検討していく。

質問 各種証明書のコンビニ交付の活用について

答弁 利用は拡大していると認識している。利便性の理解について、広報おぢややホームページをはじめ、窓口や封筒、証明書交付申請返信文書などで周知に努めている。

信濃川流域広域幹線道路について

質問 信濃川流域広域幹線道路の小千谷地域内の構想はどうなっているのか。

答弁 地域から要望のある主要地方道長岡片貝小千谷線を信濃川流域広域幹線道路として位置付けており、信濃川流域広域幹線道路建設促進期成同盟会を通じて、国及び新潟県に対して、早期実現について要望しているほか、新潟県に対して小栗田地内及び片貝山屋地内における道路改良、歩道改良工事の実施を要望している。通学路の役割を担っている道路もあるため、安全な道路を確保すべく引き続き新潟県に対し早期の道路整備を要望していく。

吉崎 進 議員



図書館等複合施設の 市内業者について

質問 いよいよ旧小千谷総合病院跡地に図書館等複合施設の建設が始まる。今回の建設に対してどのように発注するのか。市長の考えを伺う。

市内の業者には建築一式工事ではA等級の企業がいくつかある。また、電気設備、衛生設備についても同様にいくつかの企業がある。つまり、図書館等複合施設建設は市内の業者でできる。また、メンテナンスを考えた場合、市内の業者の方が迅速に対応できる。このコロナ禍で建設業界は大幅に仕事減少し、大きな痛手をこうむっている。今回の建設には国の補助もあるが、多額の市税を使うことになっている。このような中で市外の業者が元受けとなる場合、市民の理解は得られるのか。そこで、市内に本社のある業者

が元受けとなれるよう、指名競争入札にする考えはあるか。また、一企業で不十分な場合は、市内の業者で共同企業体を組めば済むと考えるが、市長の見解は。

答弁 図書館等複合施設事業については、現在、施設の設計業務を進めているところであり、現段階では建設工事の発注方針を言う状況にない。

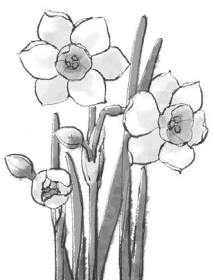
令和3年第2回定例会において

阿部議員の一般質問に答えたところ、市内建設業者の発注機会の確保に配慮し、さらに、本件工事と同等規模以上の工事の施工実績なども加味したうえで共同企業体制度の活用を含めて検討していく。

質問 設計業務は何時終わるのか。

答弁 6月くらいになる。

答弁 先ほど答弁したとおり。



市政の内容を聞く

一般質問

〈1月〉

- 6日 広聴広報委員会
- 14日 広聴広報委員会
- 〃 議会改革推進委員会
- 20日 議員協議会

〈2月〉

- 2日 会派代表者会議
- 9日 会派代表者会議
- 10日 議会改革推進委員会
- 16日 議員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 25日 第1回定例会（本会議）
- 〃 広聴広報委員会
- 28日 常任委員会連合審査会

〈3月〉

- 3日 常任委員会連合審査会
- 4日 常任委員会連合審査会
- 7日 総務文教委員会
- 8日 民生産業委員会
- 17日 議会運営委員会
- 〃 本会議（第2日）
- 18日 本会議（第3日）
- 〃 広聴広報委員会
- 〃 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 30日 議会改革推進委員会



長谷川 勝清 桜町(中)

私は7年前に新発田市から移住して来ました。放課後等デイサービス「おちや童夢」を開設して6年目になります。放課後等デイサービスは、障がいのある児童（小・中・高校生）が、放課後や長期休暇中に通う事が出来る施設になります。障がいのある子どもたちの放課後の居場所を作ること、仕事で忙しいご家庭などのサポートに寄与することから、障がい児の学童と言われる事があります。一般的な学童に馴染むのが難しい場合など居場所に悩まれている方は多くいらっしゃると思います。そうした方々に居場所を提供

するのが放課後等デイサービスです。

放課後の活動としてはまず宿題終わったら自由活動、全員の宿題が終わったら集団での体操や運動、そしておやつとの時間です。その後は個別活動の時間と並行して高学年中心に掃除も分担して行います。長期休暇中は、午前中にグリーンヒル白山の体育館で運動し、午後は市民プール・図書館・おちやパカ牧場や夢の森公園、冬休みは白鳥大池へ出かける事もあります。日替わりのプログラムで時間ごとに片付けや出掛ける準備を繰り返し行う事で自然と子どもたちも自ら動いてくれるようになります。童夢へ通う子どもたちは成長がゆっくりですが、友達同士の遊びや創作活動などの中から、一つでも出来る事が増えて欲しいと思います。ながら支援しています。

小学校1年生から高校卒業まで最長12年間一人の子どもと関わる事が出来る仕事であり、とてもやりがいのある仕事です。これからその子が持っている力を最大限生かしながら、将来は社会参加が出来る人になってもらいたいと思います。日々仕事しています。

編集後記

今定例会におけるいくつかのポイントを紹介します。

- ・予算を決める大事な第1回定例会が終わりました。予算案については、令和4年度から始まる新規事業や拡充される事業が多くあり、慎重に審査しました。住民福祉増進のために無駄を排し、有効に使ってほしいと願います。

- ・総務文教委員会に於いて、議員報酬引き上げに関して修正動議が提出され可決。本会議でも可決され、引き上げの時期が1年据え置きの令和5年4月1日からとなりました。

- ・議員発議による「ロシアによるウクライナ侵攻を強く非難する決議」が全会一致で決議されました。戦争ほど悲惨なものはありません。断固戦争には反対します。当市では避難民の受け入れを表明しており、官民連携の支援の会も発足しました。支援募金を含め、今何をすべきか今一度考えたいものです。令和4年度もよろしくお願います。

編集委員 住安 康一